



MEITETSU
TRANSPORTATION

Business Report



第86期中間報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日

証券コード：9077

名鉄運輸株式会社

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

私たちグループは「『こぐま』でお預りした荷物は最後まで『こぐま品質』でお届けする。」という理念のもと、日々品質をみがき、グループ一丸となって企業価値の向上に努めております。

株主のみなさまには、引きつづきご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 内田 亙



営業の概況（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に、設備投資の回復が本格化し、個人消費も緩やかながら持ち直しました。一方、相次ぐ自然災害の発生や、原材料費や人件費の上昇により、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物の荷動きが堅調なものの、人手不足の深刻化により、ドライバー確保のための人件費の増加や、運送委託費の高騰、原油価格上昇に伴う燃料価格の高値推移など、負担の重くのしかかる厳しい経営環境となりました。また、働き方改革関連法案が成立し、物流業界全体で労働時間是正や取引環境の適正化について関係者と連携して推進するよう求められました。

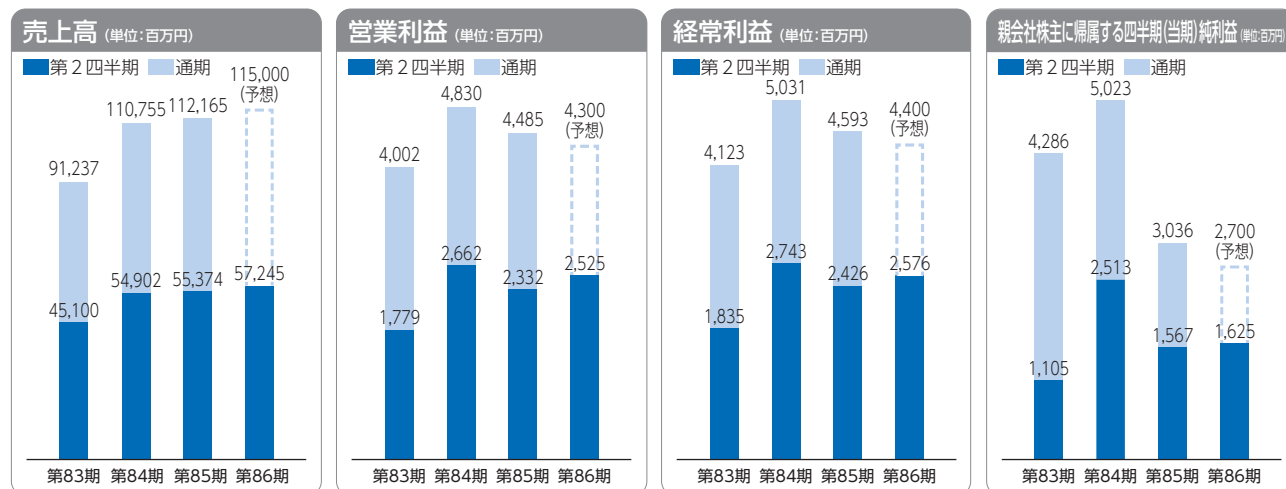
このような状況の中、当社グループは、新中期経営計画の基本方針「安心と信頼のこぐま品質を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎とする」を中心とした各施策を推進し、積極的な営業活動と効率経営に努めました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は前年同期比3.4%増の57,245百万円となりました。また、営業利益は運送委託料、燃料費、人件費が増加したものの、売上高の増加により、前年同期比8.3%増の2,525百万円、経常利益は前年同期比6.2%増の2,576百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期比3.7%増の1,625百万円となりました。

第86期第2四半期のポイント

Point

混載事業を中心に、顧客需要を取り込み、取扱量を確保するとともに、輸送コストに応じた運賃改定交渉に継続して取り組んだことにより、増収増益となりました。



通期の見通し

今後の見通しにつきまして、国内経済は、好調な企業業績主導の成長が見込まれる一方、原材料費、人件費上昇によるコスト増から伸びが鈍化し、設備投資の減速が予想されます。

物流業界におきましても、国内貨物輸送量は小幅な増加が予想される一方、ドライバー不足が年々深刻化しており、人件費、運送委託費の上昇、燃料価格の高値推移など、今後も予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画の各施策を確実に推進してまいります。

以上を踏まえ、第86期通期の連結業績予想につきましては、売上高は1,150億円(前期比2.5%増)、営業利益は43億円(前期比4.1%減)、経常利益は44億円(前期比4.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は27億円(前期比11.1%減)を見込んでおります。

物流関連事業

売上高 **567億95百万円** (前年同期比 3.5%増)

〈貨物運送関連〉

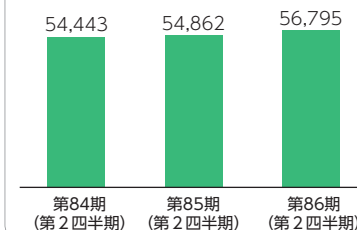
混載事業を中心に、顧客需要を取り込み、前年同期並みの取扱量を確保いたしました。具体的な施策として、営業面では、各地域の営業専属担当者や東京営業部との連携により、グループの輸送ネットワークを活用した提案による新規荷主獲得を進め、既存荷主に対しては、輸送コストに応じた運賃改定交渉を引き続き行うとともに、運送約款改正に合わせ、運送と付帯作業の区分を明確にし、作業軽減もしくは作業料収受を図り、作業環境の改善を目指し交渉を行いました。業務面では、日本通運株式会社との連携において、集荷配達受託のほか、ターミナル施設の共同利用や共同配送をグループ会社も含め全国で進めるなど、経営資源の効率化及び有効活用を図りました。また、輸送を外部委託からグループ内に取り込む活動も継続して行いました。

〈流通倉庫関連〉

猛暑による飲料メーカーの増産に伴い保管及び輸送需要を取り込んだほか、日用品メーカーの取扱増加など主要顧客の売上が堅調に推移し前年同期を上回りました。

以上の結果、物流関連事業における売上高は運賃単価の上昇及び取扱量増加による増収により前年同期比3.5%増の56,795百万円となり、売上総利益は前年同期比3.8%増の4,992百万円となりました。

売上高 (単位:百万円)

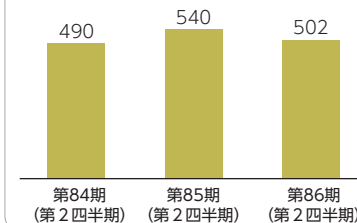


その他事業

売上高 **5億2百万円** (前年同期比 7.0%減)

不動産賃貸事業、広告代理事業など各事業の営業強化に注力いたしましたが、設備工事収入の減少などにより、売上高は前年同期比7.0%減の502百万円となり、売上総利益は前年同期比5.7%減の194百万円となりました。

売上高 (単位:百万円)



第86期第2四半期連結決算の概要

四半期連結貸借対照表

(平成30年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	19,347	流動負債	34,371
現金及び預金	347	支払手形及び営業未払金	7,392
受取手形及び営業未収入金	16,079	電子記録債務	4,537
電子記録債権	1,371	短期借入金	10,044
商品及び製品	3	1年内返済予定の長期借入金	2,116
仕掛品	7	リース債務	132
貯蔵品	220	未払法人税等	943
その他	1,327	賞与引当金	575
貸倒引当金	△9	その他	8,629
固定資産	77,141	固定負債	27,930
有形固定資産	67,596	長期借入金	15,792
建物及び構築物	11,388	リース債務	210
機械装置及び運搬具	15,954	繰延税金負債	250
土地	39,048	役員退職慰労引当金	185
リース資産	353	退職給付に係る負債	8,383
建設仮勘定	256	資産除去債務	699
その他	595	再評価に係る繰延税金負債	2,035
無形固定資産	1,492	その他	371
ソフトウェア	1,118	負債合計	62,301
その他	374	(純資産の部)	
投資その他の資産	8,052	株主資本	29,394
投資有価証券	2,624	資本金	2,065
長期貸付金	72	資本剰余金	6,034
繰延税金資産	2,949	利益剰余金	21,323
その他	2,483	自己株式	△29
貸倒引当金	△78	その他の包括利益累計額	3,730
		その他有価証券評価差額金	963
		繰延ヘッジ損益	2
		土地再評価差額金	3,231
		退職給付に係る調整累計額	△467
		非支配株主持分	1,062
		純資産合計	34,187
資産合計	96,489	負債純資産合計	96,489

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	57,245
売上原価	52,064
売上総利益	5,181
販売費及び一般管理費	2,655
営業利益	2,525
営業外収益	126
受取利息及び配当金	46
その他	79
営業外費用	75
支払利息	39
その他	35
経常利益	2,576
特別利益	132
固定資産売却益	111
その他	20
特別損失	96
固定資産処分損	83
その他	12
税金等調整前四半期純利益	2,612
法人税、住民税及び事業税	942
法人税等調整額	21
四半期純利益	1,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,625

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245
現金及び現金同等物の増減額	39
現金及び現金同等物の期首残高	262
現金及び現金同等物の四半期末残高	302

当社は、ライフスタイルなど外部環境の変化へ柔軟に対応し、お客様に信頼され、なくてはならぬ存在を目指し、2018年度から2020年度を対象とする3ヵ年の名鉄運輸グループ中期経営計画の各施策に取り組んでおります。

キャッチフレーズ

We're Koguma
～ for the Best Quality ～

「We're Koguma」には、どのような地域やサービスにおいても、「We're Koguma」を合言葉として、**グループ一丸となって、最高品質のロジスティクスサービスをお客様にお届けしたい**という思いが込められています。

また、名鉄運輸グループとともに、豊かな地域社会を実現していくお客様、パートナー様、地域のみなさまも、「We're Koguma」の一員になっていただきたいという願いが込められています。

基本方針

安心と信頼の **こぐま品質** を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎とする

(1) 経営力

- ・安心安全の追求
- ・グループ総合力の発揮
- ・「こぐまブランド」の浸透



(2) 人材力

- ・人材スキルの向上
- ・魅力的な職場環境づくり
- ・人材獲得力の強化

安心と信頼の **こぐま品質** を提供する
人材力・輸送サービス基盤の強化

(3) ネットワーク力

- ・地域拠点の強化
- ・輸送ネットワークの最適化
- ・協力会社、外部との連携

こぐま品質とは

出荷主様にとって、荷受人様は大切なお客様です。「こぐま品質」とは出荷主様の商品に対する「思い」を、出荷主様に代わって大切なお客様である荷受人様にお届けすることです。私たちが輸送しているのは、荷物ではなく、**お客様の大切な商品**です。

グループ事故三悪撲滅委員会の活動を開始

中期経営計画の基本方針である「こぐま品質」をさらに向上させるため、グループ事故三悪撲滅委員会を設置し、活動を開始しました。まずは委員会のメンバーがグループ会社も含め全国を巡回し、事故撲滅の教育宣伝活動を行っております。今後も、運転・商品・労務における事故撲滅策の検討・提言を行い、事故撲滅に取り組んでまいります。



グループ事故三悪撲滅委員会

地域拠点の強化、魅力的な職場環境づくり

既存施設リニューアル投資を行い、資産の有効活用と強い地域拠点の整備を行ってまいりました。

また、人手不足の中、離職防止の観点から従業員が気持ちよく働ける職場環境づくりを推進してまいりました。



事務所・共有スペースのリニューアル

システムへの投資

ドライバーが貨物情報を登録するハンディ端末について、順次、次世代型への切替えを行っております。新端末は写真撮影とデータ送信が可能となり、異常報告を速やかに行えるなど品質の向上と従業員の作業軽減を図ります。

また、営業活動に営業支援システムを導入し、営業担当者が各種情報を共有して、グループ総合力を発揮した営業活動を展開しております。



新ハンディ端末

会社の概要 (平成30年9月30日現在)

設立	昭和18年6月1日
本社	名古屋市東区葵二丁目12番8号
資本金	2,065,994,499円
発行済株式総数	6,509,301株
株主数	1,195名
主な事業所	東北支社(仙台市)、北関東支社(足利市)、 東京支社(東京都江戸川区)、名古屋支社 (小牧市)、大阪支社(大阪市) <small>(注)事業所数64箇所</small>
従業員数	2,551名 <small>(注)従業員数には、パート、アルバイト等は含んでおりません。</small>

役員一覧 (平成30年9月30日現在)

代表取締役 取締役社長	内田 亙
代表取締役 専務取締役	松田 康博
常務取締役	榊原 勝則
常務取締役	亀崎 剛
取締役	長谷川 靖
取締役	氏原 賢二
取締役	花房 伸介
取締役	吉村 史法
取締役	有馬 正純
取締役	田中 明彦
取締役	西蔭 洋
取締役	近藤 乗弘
取締役	山本 亜土
取締役	安藤 隆司
社外取締役	植松 満
社外取締役	井上 尚司
常任監査役	高木 義博
監査役	拝郷 寿夫
社外監査役	武藤 雅之
社外監査役	安井 秀樹

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会の 基準日	定時株主総会の議決権の基準日は毎年 3月31日です。
剰余金の配当の 基準日	期末配当の基準日は毎年3月31日です。 また中間配当を行う場合は、毎年9月 30日を基準日とします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、電 子公告によることができない事故その 他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載する方法により行 います。 ※電子公告掲載ホームページアドレス http://www.meitetsuunyu.co.jp/corp/ir/notice/
単元株式数	100株
上場取引所	名古屋市場第2部
住所変更、単元 未満株式の買 取・買増等のお 申し出	・証券会社に口座のある株主様 口座のある証券会社にお申し出下さい。 ・証券会社に口座のない株主様 三井住友信託銀行株式会社にお申し 出下さい。 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

名鉄運輸株式会社

〒461-0004 名古屋市東区葵二丁目12番8号
TEL : 052-935-5721
URL : <http://www.meitetsuunyu.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。